

2009年度 当初予算（案）

運動で切りひらいた大きな一歩

豊能・三島地域における新校の基本計画策定費および

新校整備までの間、既存高等学校校舎の改修等が盛りこまれる

2月16日、2009年度当初予算（案）について、府教委が府障教に説明を行いました。府立支援学校の新校整備事業には、鳥飼高校を活用した新校整備の基本計画策定費が、教育環境整備事業には、新校整備までの間、児童生徒数増に対応するために、鳥飼、四条畷北、清友の各高校校舎の改修費用および、砂川厚生福祉センターに仮設校舎を整備する費用が盛りこまれています。

1 府立支援学校の教育環境の整備・充実に関する予算案の概要

府立支援学校の教育環境の整備・充実に関する予算案は、府立知的障がい支援学校新校整備事業と府立支援学校教育環境整備事業から構成されています。府教委によれば、児童・生徒数の増加に対応するために新校を整備するとともに、「たまがわタイプ」高等学校の併設を行うとし、「平成25年度までに府内4地域で新校整備に着手する」としています。

2 各地域における09年度当初予算案の概要

- (1) 豊能・三島地域
鳥飼高校を活用した新校整備の基本計画の策定等
新校整備までの間の仮校舎として、鳥飼高校の校舎を改修。
- (2) 北河内地域
新校整備のため、枚方市との用地交換（旧市立村野中学校敷地）
新校整備までの間の仮校舎として、四条畷北高校の校舎を改修
- (3) 中・南河内地域
新校整備までの間の仮校舎として、清友高校校舎を改修
- (4) 泉北・泉南地域
新校整備までの間の仮校舎として、砂川厚生福祉センターに仮設校舎を整備

3 予算（案）における額など

- * () 内は、知事復活要求額比
- (1) 府立知的障がい

支援学校新校整備事業

- ・豊能・三島地域
新校整備費 19,641千円
(1,861千円減)

(2) 府立支援学校教育環境整備事業

- 235,385千円
(119,658千円減)

内訳

- 教室用備品等購入費 35,765千円
(49,696千円減)
- ・特別教室等改修関係消耗品 6,320千円
(6,768千円減)
- ・普通教室改修等関係消耗品 32教室（36教室減）

23,333千円

(24,323千円減)

・厨房関係消耗品

4力所 6,112千円

(18,605千円減)

教室改修等関係備品

63,492千円

(46,788千円減)

・厨房関係設備備品

3力所 59,544千円

(36,517千円減)

・厨房関係消耗備品

4力所 3,948千円

(10,270千円減)

教室改修等工事費 122,051千円

(21,167千円減)

・特別教室改修等工事費

8力所 11,520千円

(7,328千円減)

・厨房改修等工事費

3力所 23,529千円

普通教室改修等工事費

3力所 43,596千円

(13,839千円減)

・仮設校舎移設工事費 43,406千円 等

5 高校校舎「間借り」の問題など

新規事業原則ゼロをかかげる橋下府政の予算案に、新校整備に向けた項目を盛りこめたことは、これまでの運動の大きな成果です。

しかし、豊能・三島地域以外の3地域の事業着手については、「毎年度の予算編成を通じて検討」となっています。理由は、4校の新設のみでは、今後の児童生徒数の増加への対応に不十分で、府内養護学校の過大・過密は解消されません。

また、府教委が学校建設を急いだために、新校整備までの間、高校校舎を「間借り」する計画となっています。新校完成後に新入生を迎え入れ、あらたな学校としてスタートするのが本来の姿です。しかし「間借り」のため、養護（支援）学校で学ぶ児童・生徒が通学区域割りの変更により、「現在校」「仮校舎」「卒業」「現在校」「仮校舎」「新設校」「現在校」「仮校舎」「現在校」などの移動を余儀なくされる可能性等、重大な問題をばらんでいます。その上、高校校舎改修工事が教育に与える影響は明らかではないでしょうか。

父母および当事者のねがいに依拠した学校づくりが求められます。各分会では、組合員の意見、職場の声を府障教本部に集約して下さい。